

日本産業教育学会誌編集規程 ※2018年10月制定

(学会誌の名称・発行)

第1条 本誌は日本産業教育学会 (JSSVTE : Japan Society for the Study of Vocational and Technical Education) の機関誌であり、年1巻として2号に分けて原則として1月末と7月末に発行する。なお、本誌の名称は『産業教育学研究』(Bulletin of Japan Society for the Study of Vocational and Technical Education) とし、著作権は、原則として、本学会に帰属する。

(記事の種類)

第2条 本誌には産業教育に関する本学会会員の研究論文の他、書評、学会ニュース等の研究活動に関する記事を掲載する。

(研究論文)

第3条 本誌の研究論文は、次の各号に掲げる4種に区分する。

- 1 「論文」 科学論文として実証性、論理性、独創性があり、学術的価値があると認められるもの
- 2 「研究ノート」 学術的に萌芽的な内容で今後の発展が期待され、かつ価値があると認められるもの
- 3 「実践研究」 教育実践をもとに記述し、価値ある提言、結論を導きだしているもの
- 4 「資料」 学術活動に貢献する価値ある情報、重要な知見などを整理したもの

(掲載)

第4条 原稿の掲載は編集委員会の審議を経て決定するものとする。必要に応じて専門分野の会員に査読を依頼する。掲載予定の原稿について、編集委員会は内容の変更を求めることがある。

(査読)

第5条 研究論文の査読に関する必要な事項は編集委員会が別途定める。

(投稿)

第6条 原則として発行月の5ヶ月前までに投稿された原稿を掲載するよう編集するものとする。ただし、連続する号で、同一会員による研究論文の掲載はしない。

(形態)

第7条 本誌の形態については別に定める『産業教育学研究』投稿要領によるものとする。

(改正)

第8条 この規程の改正は総会の承認を必要とする。

附則 (2018年10月6日)

この規程は2018年10月6日より施行する。

『産業教育学研究』投稿要領 ※2018年11月一部改正

1. 投稿する原稿は未発表のものに限る。ただし、口頭発表、プリント等の場合はこの限りでない。
2. 投稿しようとする会員は、当該年度の会費を完納していなければならない。
3. 連名者がいる場合、筆頭者は本学会会員でなければならない。
4. 前号に投稿した研究論文が掲載された者は、連続して投稿できない。
5. 投稿した研究論文が非掲載となった者は、同じ主題で後2回まで再投稿することができる。
6. 投稿する研究論文において主に使用する言語は日本語とする。日本語以外の言語を主に使用する場合は、事前に編集委員会に確認する。
7. 研究論文は、学会誌面で8頁以内とする。その他の投稿の場合には、投稿者は事前に編集委員会に確認する。
8. 研究論文を投稿する会員は、以下のものを電子メールに添付して、下記12に記載の投稿先に提出する。投稿した原稿等は原則として返還しない。
 - ① 所定の投稿申込書のPDF (Portable Document Format) ファイルまたはワープロファイル。
 - ② レイアウト原稿のPDFファイル。
 - ③ 英文により、タイトル、Abstract (300語以内)、キーワードを記載した別紙 (様式自由) のPDFファイルまたはワープロファイル。
 - ④ 修正対応表 (再投稿の場合に限る) (様式自由) のPDFファイルまたはワープロファイル。

9. 投稿申込書は、本学会 Web サイトから入手した書式ファイルを使用して作成するか、学会誌の投稿申込書を PDF ファイルに変換して作成する。
10. レイアウト原稿とは学会誌の刷り上がりイメージと同様に文章及び図表等が配置されている原稿のことであり、書式は次の通りとする。
- (1) レイアウト原稿の形態は、A4判縦向き横書きを原則とする。
 - (2) レイアウト原稿は、原則として本学会 Web サイト上の書式ファイル（マイクロソフト社 Word 版）を使用して、ワープロソフトウェアで作成する。当該書式ファイルは、投稿時点での最新版を使用すること。なお、レイアウト原稿が特殊なワープロファイルで提出され、ファイルの形式変換に特別な費用が発生した場合、当該経費は投稿者の負担となることがある。
 - (3) 学会誌の完成時における 1 頁のレイアウトは、本文（註および参考文献を含む）を 27 字 50 行 2 段組とする。このとき、ワープロソフトウェアによる註の自動割付けによって、レイアウトが部分的に変更されないよう注意すること。
 - (4) タイトル、氏名及び所属等は、1 頁目に初めの 12 行を目安に記す。氏名に続けて、括弧の中に所属を記す。研究論文には、1 列 50 字で 5 行以内の「概要」と数項目の「キーワード」を先頭に付ける。
 - (5) 本文（註および参考文献を含む）の文字は 9 ポイント、図表の文字は 8 ポイント以上とする。
 - (6) 註および引用文献等は、原稿末に一括して掲げる。なお、インターネット掲載・CD 等の電子化された資料を典拠とする場合、下記「表記の例示」のように、その書誌情報の提示は、印刷媒体での方式に基本的に従った上で、資料検索時の日付と URL 等を書き加える。そして、たとえ URL 等が変更になったとしても、当該資料を容易に確認できるだけの書誌情報を提供しなければならない。また、引用部分にページを記していない場合、検索日と URL 等に加え、小見出しなどを示すことにより、当該箇所が特定できるようにする。

【表記の例示】

〈 注記方式の場合 〉

1) 日本産業教育学会『日本産業教育学会ホームページ』（名古屋：日本産業教育学会事務局, 作成年不明）<http://www.jssvte.org/>(検索日 2008 年 7 月 31 日)。

1. Julian Samora and Patricia Vandell Simon. A History of the Mexican-American People, rev. ed. (East Lansing, MI: Julian Samora Research Institute, Michigan State University, 2000), under “Civil War in Mexico,” <http://www.jsri.msu.edu/museum/pubs/MexAmHist/chapter14.html#six> (accessed December 19, 2005).

〈 参考文献方式の場合 〉

日本産業教育学会. 『日本産業教育学会ホームページ』 .名古屋：日本産業教育学会事務局, 作成年不明.<http://www.jssvte.org/>(検索日 2008 年 7 月 31 日).

Samora, Julian. and Patricia Vandell Simon. A History of the Mexican-American People. Rev. ed. East Lansing. MI: Julian Samora Research Institute. Michigan State University. 2000. <http://www.jsri.msu.edu/museum/pubs/MexAmHist/chapter14.html#six> (accessed December 19, 2005).

[参考文献]

Turabian, Kate L. A Manual for Writers of Research Papers, Theses, and Dissertations: Chicago Style for Students and Researchers, 7th ed. revised by Wayne C. Booth, Gregory G. Colomb, and Joseph M. Williams. Chicago: University of Chicago Press, 2007.

なお、インターネット掲載等の資料を典拠とした場合、査読時にその内容が確認できなかった際のリスクは、すべて投稿者が負う。また、出典が有料データベース等となる場合、確認に要する費用は、派生する間接的経費を含めて投稿者がすべて負担となる場合もある。

- (7) 研究論文の最後に、(20XX 年 XX 月 XX 日 受理) 及び (20XX 年 XX 月 XX 日 再受理) の 2 行を入れる。

- (8) 最初の投稿原稿には、氏名と所属、謝辞を記さず、それらの記載のためのスペースを確保しておく。氏名と所属、謝辞は、最終段階のレイアウト原稿に記す。
11. 投稿受け付けの開始は、第1号が8月1日の0時、第2号が2月1日の0時とし、投稿受け付けの締め切りは、第1号が8月末日の24時、第2号が2月末日の24時とする。
 12. 投稿先は、創文印刷工業株式会社内の編集委員会事務局 (bjssvte@soubun.com) とする。
 13. 編集委員会は、投稿者に対し、投稿日の翌日から3日以内(土曜日・日曜日・休日を除く)に、投稿申込書に記載の電子メールアドレス宛てに、受け付け通知を送信する。なお、投稿者は、所定の期日内に受け付け通知が届かない場合は、編集委員会事務局(上記12)に連絡すること。
 14. 研究論文の採否は、編集委員会より、投稿申込書に記載の電子メールアドレス宛てに通知する。
 15. 研究論文審査の結果、修正及び照会等を求められた場合には、①修正したレイアウト原稿と英文別紙のPDFファイル、②修正対応表(様式自由)のPDFファイルまたはワープロファイルを、編集委員会に送付すること(送付先等の詳細は別途指示する)。なお、図表については、レイアウト原稿ファイルとは別に提出を求めることがある。
 16. 執筆者校正は、原則として1回、初校で行う。執筆者校正においては、原則として文章の変更や追加、削除は認められず、誤字・脱字等の修正のみを行う。2校以降は、執筆者が指示した箇所について、編集委員会が行う。
 17. 研究論文の別刷りが必要な投稿者は、実費を支払う。

附則(2018年11月3日)

この投稿要領は2019年1月1日より施行する。

[制 定] 2018年10月9日(総会決定)

[最終改正] 2018年11月3日一部改正(編集委員会決定)

『産業教育学研究』誌第48巻第2号(2018年7月31日発行)までの表紙見返しに掲載した「編集規程」「投稿規程」「投稿要領」「レイアウト原稿作成要領」は、2018年10月6日開催の総会により上記「日本産業教育学会誌編集規程」「産業教育学研究」投稿要領が制定・施行されたことに伴い、廃止されました。

【注】

「日本産業教育学会著作権規程」(2018年10月6日制定〔総会決定〕)、及び「投稿論文における電子化された情報に関する注意事項」(2008年4月26日制定〔編集委員会決定〕)は、学会Webサイトに掲載してある(<http://www.jssvte.org>)。